

中日SDGsフェア開催

8/19(水) 10:30~16:30

ウインクあいち8階 展示場
(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

SDGs特別講演

申し込み不要 / 当日先着順 / 無料

11:00~ (約30分)



JICA中部 所長
上町 透さん

Profile / JICAインド事務所次長や本部総務部門などを歴任し、国際協力の現場と運営の両面に精通。2024年4月にJICA中部センター所長に就任。開発途上国との協力を推進している。

13:00~ (約30分)



株式会社寿商店 常務取締役
森 朝奈さん

Profile / 食にこだわった飲食店を展開。「食文化を全国に広める」を目標に、YouTubeチャンネル「魚屋の森さん」での魚のさばき方・調理法・旬の魚の解説や、日本最大級の魚系オンラインサロン運営など積極的に活動中。

入場無料

ご来場の方全員に
SDGsキーホルダー
プレゼント!



夏休みの宿題にぴったり!

SDGsは達成に向けてどこまで進んでいる? 展示や講演を通して、SDGsの今を知ろう!



随時開催 展示・体験プログラム

申し込み不要、参加自由、無料

エコパル名古屋出張ワークショップ

「間伐材を使ったウッドコースター作り」と「不要になったチラシを使ったプレスレット作り」に挑戦!
対象: 幼児~大人 協力: エコパル なごや



SDGsを支える自転車ライフ! 見て・学んで・体験しよう

シェアサイクルの展示や試乗体験に加え、名古屋市の自転車施策に関する展示や交通安全ゲーム等を通して、自転車について楽しく学ぶことができます。ぜひお立ち寄りいただき、SDGsの実現に貢献する自転車の魅力を感じてください。

対象: 小学生~大人 協力: 名古屋市緑政土木局 自転車利用課



SDGs×国際協力~世界の教育を考えよう~

開発途上国が抱える教育の今とさまざまな課題について、一緒に考えましょう。

アクティビティ① 「アフリカかるた」(小・中学生向け)
開催予定 10時30分 / 11時30分 / 13時30分 / 15時30分 (所要時間20分程度)

アクティビティ② 考えよう「もし学校がなかったら」(高校・大学生向け)
開催予定 12時30分 / 14時30分 (所要時間30分程度)

アクティビティ③ 展示から考えよう「SDGs気づきとアクション」/ 随時開催
対象: 小学生~大人 協力: JICA 中部



14:00~16:00 大学生によるSDGs取り組み発表会

発表内容

愛知大学	地域活性の4つの視点から国産バナナの価値を考える
愛知淑徳大学	自分色を表現できる社会へ
東海学園大学	規格外野菜を活用した加工食品の開発とSDGsへの貢献
名古屋学院大学	竹資源の循環に向けた取り組み
名古屋市立大学	教育格差は、隣の家でも起きているー大学生が届ける無料塾プロジェクトー
藤田医科大学	SDGsから考えるDIY導入への挑戦 ー「すべての人に健康と福祉を」の実現を目指してー

コメンテーター

国際連合地域開発センター所長 JICA中部 所長
村田 重雄さん 上町 透さん

コーディネーター

ラジオパーソナリティ
加藤 玲那さん

SDGsフェア参加企業・団体・大学 SDGsに取り組んでいる企業・団体・大学の活動内容をブースやパネルで紹介!ぜひお立ち寄りください。(順不同)

愛知大学

地域活性の視点から国産バナナの価値を考える

国産バナナは持続可能な地域活性にどうつながるか?

愛知大学では、国産バナナを活用した地域活性化の研究成果を展示・発表します。本研究は、①バナナに含まれるカリウムの量とその健康効果、②地域ブランド化に向けた現状と課題ーアンケート調査を通じて、③総合型観光農園による高付加価値化の可能性、④SDGsやフードロス削減を目指したイベントの提案という4つの視点から活性化にアプローチしました。今回のブースでは、これらの取り組みをパネル展示とプレゼンテーションを通して分かりやすく丁寧にご紹介します。



愛知淑徳大学CCC

愛知淑徳大学「違いを共に生きる」

大学理念である「違いを共に生きる」社会をたえず目指し、活動し続けます

愛知淑徳大学では、学生たちの「違いを共に生きる」気持ちを育み、地域に役立てています。多くの学生たちがSDGsの活動に取り組み、地域課題の解決に挑戦していきます。現在、30以上の学生団体が活動中。前半の学生団体ユニコマは障がいのある方の衣服の着用に関する課題に取り組んでいます。後半の学生団体ボレラは飛騨地域の活性化事業に取り組んでいます。



東海学園大学

規格外野菜で食品ロスを減らす

加工食品開発で食品ロス削減とSDGsに貢献

東海学園大学では名古屋市農業センターで発生する規格外トマトやタマネギを活用し、パンやクラッカーなどの加工食品を開発しています。食品ロスの削減と地域資源の有効活用を目的に、商品化の可能性を官能評価・保存性・栄養価・コストの面から検証するとともに、LCA(ライフサイクルアセスメント)による環境負荷低減効果を評価しています。持続可能な地域循環型食品システムの構築を目指した活動を紹介いたします。



名古屋学院大学

名古屋学院大学 竹資源の循環に向けた取り組み

放置竹林から伐採した竹を活用した学生の取り組みのご紹介

名古屋学院大学岡本ゼミでは、企業や地域と連携した様々な課題解決プロジェクトに取り組んでいます。このうち竹チームは、岡崎市額田地区で地域課題となっている放置竹林問題の改善に向けて取り組み、2026年3月に伐採竹を活用した「折り竹ライトアップ」イベントを開催しました。本ブースでは、イベントの企画背景や当日の様子を紹介し、道路への倒竹や生態系への影響など、全国的にも課題とされる放置竹林問題について考えます。



名古屋市立大学

名古屋市立大学におけるSDGsの取り組み紹介

教育、研究、医療、学生活動等における名市大のSDGs活動のご紹介

名古屋市立大学では、2021年に設立したSDGsセンターを中心に、SDGs達成に向けた活動を推進しています。こうした活動が評価され、2026年6月に世界の大学のSDGs活動を評価するTHEインパクトレーティング2026において、総合ランキングで301-400位(8年連続国内公立大学1位)という評価を受けました。ブースでは、学生主体の小中学生を対象とした学習支援の取り組みをはじめ、教育、研究、医療等におけるSDGs達成に向けた活動についてご紹介します。



藤田医科大学

「すべては社会のために」ALL Fujitaで取り組む社会貢献

社会貢献を使命と捉え、SDGsの達成と共に社会課題に挑み続けます

藤田医科大学は、「その時、いちばん動ける藤田学園へ」をスローガンに、災害時医療、健康長寿問題、研究の推進などあらゆる社会課題に取り組んでいます。今回は、学生が提案がきっかけとなり実現した、「DIY」と患者さんご家族の活動をはじめ、多様性を尊重し誰もが安心して学び、働き、暮らせる環境づくりを目指す本学の取り組みなど、教職員と学生が一体となって推進するさまざまなSDGsの活動を幅広くご紹介します。



気象庁 名古屋地方気象台

愛知県の気候変動について

愛知県の気候変動について観測結果と将来予測をご紹介します

気象庁は、気候変動対策に関する国際的な取り組みに参加するとともに、我が国の政府、地方公共団体及び民間企業等が対策を行う際の基盤的な情報として活用されるよう、気候変動に関する情報を公表しています。今回のブースでは、愛知県の気候変動について、パネル展示を行います。また、名古屋地方気象台の紹介や雨量計の展示を行います。



中日新聞「つなぐ発酵プロジェクト」

東海地方が育む発酵食文化を未来へつなごう!

中日新聞社創業140年を記念し「発酵」について取り組みます

味噌、醤油、みりん、酢、日本酒、漬物。東海地方はこのような発酵食品の蔵元等が多く、発酵食文化が豊かに育まれている土地です。中日新聞では、地域に根ざす新聞社として未来へつなぐため発酵食文化を発信するプロジェクトを開始しました。ブースでは、味噌・醤油・味噌紙で作った中日新聞特別版の展示や、ご家庭でできる味噌づくり方法などを発信しています。発酵愛を詠む「つなぐ発酵の俳句」も募集中です。

